通論

門佐 明治九年五月 三日板權免許 佐藤尚中 通

外科 覺 偏 外 十十角 至儿迄八右 躰 傷 ~夜 卡 通論卷之三 ラ受 熱 七章 0 倫 外傷熱 入方 創 且 ルル All sold " A W. 安 離 大 1 服セス 自覺症 渴引 0 既 開 熱 療 書 飲食 法 論 同 漸 0 朝三達,勞衰不第 日 欲减 9 1 豫 次 後〇 = 患 佐藤進講義 增 少 單双創療 進 ì 者不安习覺 筆 或 順灰體感灰 スルヲ **/** 頭 常 痛 -法 日 1 7

1305202299

脉

强

度

Ŧ

理

未

文

詳

明

+

ラ

ス

只

僅为一其

經

過症

狀ヲ

窺

約

説ス

可

得

光光

ツ次二熱

り諸

症

1

熱ノ

學

説

熱

説

17

甚夕

浩

幹

=

y

其

因

テ

起

發

ス

12

原

右

諸

症

7

名

ケテ

熱

十云

7

燥

111

ラーは一角

亦 数ニン緊 增 進 ì 古 張レ皮膚温ニソ 微 ì 7 当 ヲ帯 乾 ビ 燥ス全 テ 且 ッ 身 枯

搏 抑 增 フルニ由 進 -由 } 躰 テ 来 温 テ 元 ル諸 知りて八之ヲ寒温器ニー白 盛,二症 症 多 ì 1 1 + 雖 E ス 其 必見 シ 甲 症 7 脉

静 7 十十 診 獨 分 へシ晩今 醫ベー N 呀, 斷 由 子每一度 鱼 ス 臓 E テ 12 向美三 當 驗 檢 亦 者 跳 1. 氏ノ偉 寒 變異 温 カ 動 知 + ョ更二十度= 温 セン 1) 器ノ度 ラ 2 スプルン 數 ス ナキ 器 1 1 功 冝 7 雖 即 i 數 以テ ス = 7 氏 4 脉 7 得 八施 业 因 ルニ 搏 熱 寒 ク 臥 ル ス 者 是 分子 タフ 温 行 度 1 氏 1 走及 - 從 ラ ヲ以 多 器 只 7 + シ者 檢 脉 ") 沙 ウ -テ べ及とう 數 4 順 右 由 ピ之ヲ 知 更 テン 精 ノ諸 熱 + 灰體版版 スル 神 ") 氏 權 7 テ 百 朝] 孙 度 與 用 知

部一大老三

川ラミ清

熱 外 1 7 7 通 四 ヲ 雖 檢 傷 十 常 厌 而 スル 後 則 テ 度 外 30 十八度 發 熱 y 1 半二 スル 合 上 ス ス 傷 7 時 檢 若 後 併 第二日第三日第五日人 半 至ル トソ 꺳 スル 症 シ其 第二日第三日 , 3 無 ,, 7 傷 温 熱 + 1 後 朝九時十夕 極 7 H = P ハ + 外京 9 度 直 傷熱上 九度 其 = チー 账 " 至 第 經 1 發 渦 四 日 + 至 者 云 雖 熱 五 E ルクス -ス 先ッ其 11 時西度 氏 7 後 四 於 12 出 + 消 例 テ 7 度 外 經 P 傷 過 以

諸 但 十十九 雨 凡 凡 + 熱 常 带 多 躰 般 ") 温元 少一 外 熱 トス ノ學 Ŧ 獸 3 傷 地 1 偷 少ツッ 而ノ城 進 由 説 名 輕 = 7 美三 轉 躰 テ 易 P スルノ ") ルモ ") 創一大小狀態及 ナルル ス 温 ルモヤ 退 様 1 者 症 寒暑二 スルニ 雖 ナラ 屯 八血 ハ全 F + " 未 ス Ŧ ク熱 躰 會 遲 熱 9 孙 温 先 ナル 勢 温 確 七或八其 顯 7 三 定 症 " と患者ノ射 7 發 變 朝 セ 增 ヲ 者 スル 頂灰腔歲反 詳 9 ス 加 ア ヤ 或或 i 增 居ヲ 明 减 ス セ 7 寒熱 質炎 -ル 速 由 12

111

ラル

市

成

ク

=

由

之變三應以 生 其 ナリ 1 + 論 退 儿 原 散 若 + 7 疑 > 少 i 7 シ 躰 平 説 躰 且 + Y ツ其 7 中 井 均 温 + 7 ヲ失 酸 + , ニニノ 取 試 化 温 = 機 験も 捨シ以 氣 テ 似 學 元 温 9 躰 盛 亦 中一 説 1 ") 然 大= 發 テ アリー 温 V 充 平 生 湍 1 困 11 均 説 躰 令 常 ヺ 難 中 熱 得 + = 一發 至 曰 12 ル 如 原 · - モ

確

因

常

ナ

12

=

因

ルナリ

体

中

酸

化

機

元

7

非

常

=

增

進

ス

12

+

2

7

躰

外

-

退

散

ス

12

熱

熱

定

驗 之 ン故二熱二雅ル者 躰 斗 脉管 温 ラ ラルシナイデル及ヒライデン氏等學者ノ試 ニ由テ之ヲ提證スルラ 井八空 車著 常ノ温 7 ウベ氏更二學説 鱼 スル前二當 甚多之夕収 躰 何 美二 素 シク減 中二欝 ラ發生スルニ非 ラ含ム物質 テ惡寒ヲ 収縮レンニ因ラ温ノ良い皮膚 積 サストウーベルリーベルマイ ノ尿ハ非 ラメメ 得 生タルラ見レハ 常二尿 失スルモ亦 スト蓋 四 素月含三加 頂灰監城板 ン熱ノ起 從テ多 庸 妨 更

外報遊 部 港三

更 非 ニ非ス然リト 二温习發出スル機能亢進スルニ關スルフ ~ ラ サ 力 ルナリ ラ ス गर्म 雖氏惡寒ナル者ハ熱ノ必見 7 以テ之月見レハ熱ハ 躰

此 テ熱ヲ起發スルヤ之二答フルニ三説 三疑問アリ炎機即千外傷炎如 何,作用习以 アリン

次二掲ク

第一炎部二八諸質交代八機活發十二八之二由 流通スル血液八山處ヨリ更二温ヲ取リ之ヲ全 7産 出 スルコ常ヨリ増 多又而少此炎 部ラ

川方堂清

身二分少故 擴張し常ョリ血 見 ル丁疑フ可カラ 甲ニ少クメモニ多キコアリ或八之二及スル ス ラン「なーベル氏及ヒコーフ、ショッ 其 炎部三温 計通 り晚今了立一心此氏ノ試驗二由レハ炎 處し八其真偽未夕一定七ス試驗 處ラ之 處ョり産出スル 月工 偷 門中小創 长三 一炎 度ノ増 液ヲ多量二灌入スルニ由 スト 部八他一健 中ノ 進スルハ恐クハ炎部ニ血管 者ナルヤ否未ク明カ 胀 温 1]. 度 下雖 严真二多量 同 部 五 ヨリ 丰 温 1 7 順 氣增進 氏ノ試 天監飯坂 ア 部八 リ或 + 7 驗 ラ

川沙室が成

起 第二次二程 洲 部 云 1 然 三時 此 氏等 꺳 為メニ刺 スニ足ル "] 3 "] + = 温 流 ノ試 間 以 雖 益 テジョ 度增多之 氏 X 中二全 韓 ス 晚 驗 12 シ小 可 + 今ヤ ル = セラル、片 身へ 見しい未 動 部 握 + + 加 否 ル ーコップソン 脉 ノ組 レハ未 炎 之炎 温 血 ヤ大二疑 ラ分 織 部 3 ハ 中二 夕其 タ其 1) 部ョリ来ル静脉 3 ") 其 温 配 八真偽 團 生 度 i 證 及 分 處 劇 未神 ナ 7 增 布 ス ヒ ル温 女口 i 得 ベルン 梢經 + 3 ス 并熱 何 12 7 サ ス 神 執 得 7 7 1 莊 僅 决 經炎 云 ス 血 カ 7 ス 12

産 然 第三外傷二由テ ク」両 十年通角一美三 ノ中心 出スルナ ル井八既二腐 新夕二形 ルラ以テ見レバ此 及應機起川戸脉管系八機能引元 氏ノ試 諸 ョ動管神 質 十未 交代,機 ") 梢 驗 成セラル、モ 1 トノ通 = 機レハ神經ョ盡力切断し神 經 然 炎 死七旦組織ノ一部八多少血 ノ中 ヲ起ス ") 活發 路り絶 心神交 説信スルニ足ラズ 雖モブレー及と「コロ トナリ , 經感 = 達 組織八一八 チシ ナリ 從 -テ スレハル 熱ノ 頂人と成反 進セレ 温 敗 7 消 非 死 常常 散 處 中 經 3

神 中 如 ル シメ 7 且 吸 創 經 = 皮 7 , 温 ツ 水 収 死 温 膏 元 中 血 脉 1 セ 七 ラ 腐 産 管 液 i , 進 is, , 者一 1 出 神 ノ化 退 感即 敗 3 セ 1) 物 ョ元 ` 7 神子 出 經 i 成 且 路 ヲ減 ヲ感 經交 7 4 7 血 進 疑 血 11 7 7 中一 元威 中= 却心义 乎 刺 動 取 t 7 i セルル 或 戟 可 ル ハップ 達 者 取 セル i 4 ラ 7 其 メテ 之二由 ル ス是 スル + 躰 1 他炎 " ラ 片 其 ,1 テ 中 井 ゥ 洲 L ~ 其 テ = 偏 脉 1 MI -醬 管 諸 由 氏 血 躰 酸 ,, 如 現堂龍 7 液 酵 積 1 物 * 血 ク 収 代 動 生 説 血 脉 組 7 セ 省 謝 答 縮 ス 液 促

然 十十角 ス 臆 ラ 所 ル ス - 難 ル 測 敗 ス F 性 ノ起 試 井 モ 物 スル 如 倫 件 義熱 驗 >> 何 " 1 P 10000 二由 則 即 夫 而 ノ炎 - > ") ト云是レ諸 7 因 巴 因 レ炎ラ生ス 手 血 獸 例 テ 性 熱 テ n 症ョ 只起 洲 産 ク血 液ラ不 7 へ、硫 物 ラ 家人試 熱 -發 中へ腐 起 如 儿局 潔ニシ 物ノ 然レル之,可確定 熱ノ 化水素。硫化安母 キ酸 スル 原 部 何 7 敗 驗 敗 熱 1) 見 セルシ = 由 物 纳 1 7 7 頂天堂處西 テ 9 + 膿 ル 加 テ 發 知 名 12 7 ル 中 保 汁 ケ 動 4 尼 纔 詳 テ 可 7 證 ス 七 ET 射 垂 セ 力 力

的 硫 ル 之.右 炎 2 ゲ 7 物 化炭素等其 論 = 七炎 非 證 説 質 1 7 7 ,1 起 觀 ス セ ス 熱 2= 射入 其 ル i 躰起 發 r 炎 處 " 炎 ハ熱ラ ス カ 属 二炎 血 他 1 又 如 1 ス 産 液 云 腐 組 クー且血 ス .12 中毒 汁ヲ皮 7 7 物 n 發 井ハ 織ノ腐敗ニ由テ 起 是 物 及上腐 ス イナリ. 質甚 ス ル 總テ熱 7 यानि 下蜂 ンス 中二達 -物 其 テ 敗 9 數 種 起 窩 物 2 躰 7 熱 發 7 繼 11 多 特 ス 7 見 試 成 物 名 中 異 動 ル + الار ケテ 驗 片 A 4 17 レル 那一遍 ス 射 ハ 物 浒 -1-者 票] 由 舍 淵 躰 ス 傷 ス テ 密 口 シ 以

單 時 軟 必 十十十 ル 形 12 物 多 1 部 双 F シ 1 ツ 其人 質 器 創 例 メ患者 舶 單 1 , 械 + ナ ス 編 " 機 死 麻 豫 ") >1 双 72 見ります 痺 又 延 用 創 , 後 立本 ス カ 1 命》全 豫後 症或八危 髓心臓大 , 1文 ル 及 如 神 存 う, E 7 7 上第 常 炎 七二由 經 " 療 ノ大 1 傷 7 法 部 險 y 動 ス 所ノ貴 7 等 説 3 枝 , テ全 治 脉 ノハ 腦 次 17 試ご 續 癒 等 = 及 7 血 中 身 初 發 要 追 t 驗儿 ス 7 症 脊 損 説 斷 ナ ,安治 12 害 髓 孫 景見宣義反 達 ス 1 7 ル セ 由 11 ア ス 1 スル諸 損 ョ定 テ 1) 否 件 12 1-傷 死 然 片 ラ ス 其 + 人

1911

滅潼

置

法 單 大 腸 下 異 速 ス 療 關 腎 部 殊 双 デ 1. ル 脾 創 7 節 法 = = 經 失 麻 過 膀 7 111 7 連 胱 1 損 瘅 追 肉 + 等ノ 急慢 傷 ヺ 合 ラ 説 創 残 ス 即子 スル 法 ス 危篤 外 11 ハ 八患者 Z 亡 第二意合二 局 既 1 傷 其 -症 處 ,, キ 1 大 最 ク躰 ヲ續 之 ハ イニ ヲ 只 作 . + 質 緊 局 論 發 用 7 由 要 + 师 治 セ ス 5 + 7) 由 創 險二 , 妨 作 ノレ 次 テ 傷 治 ク 大 属 者 治 用 又 ス 他 癒 11 1 9 7 ス 次 禕 創 2 又 肺 療 差 傷 遲 碍 肝

諸

ス

傷 獭 P 創 如 創 1 斗 帯ラ施スハ益ナクン 創 恐儿、 始 P 創 緊 百及 第一意合二 セリ 听,安静二保 ヨリ り隆合し 片八殊三然 鱼 要 侖 創 七其 + 晚 井 ハ Wall II ルモ 今,實驗=據一八曾 ロラ離 布 周 且以之三端 由 1 片 圍門清 り 7 放之令衣夢等 テ ツベ 扁 治 非 ス加 ì 却テ害 桃 セザル 潔ニス可シ 油= 带力施 其双傷 之時 無 多キ 7 カレ i 物 7 テ人ノ信 深ク トメ経 ス 或八之二 往時 尚 ヲンス 躰 順民官成反 コ ヲ 筋 抵 知 證 テ 觸 級 肉 11 ス 要事 及 總 セ 12 セ 單 テ 亡 1) t 11 件

類膏ノ類ヲ金林ノ創

画

7

掩

t

輕

17

溯

带

ヺ

施

ス

11111

规

能

韻

为数

縫 出 井 り油面 可 + 床 7 撒 ご或 大 血 綴 1) 除 糸 等八 + 止 撒 7 1 於 去 施 12 ス 4 テ ז 類ッ 蘵 1 £ 井 セ 掩 共 膿 後 + t 11 4 篩 創 多 = 7 ス = 12 蘸 離 ヲ ~ , 面 4 力 開 良 脱 ì 如 亡 -ラ 布 マ 乾 放 ス ス " 1 孔 片 7 11 撒 ス y ス 惠 直 撒 1 7 糸 7 ル = 空子 諸 者 祭 創 7 7 疼 得 創 貼 創 創 面 4 涌 画 ī 面 7 3 ル ス 療 7 1) 布 7 覺 縣 国 離 22 片 i ス 若 剥 著 テ i 7 益 其 油 シ ス 12 ス = 便 而 12 上 桃扁 創 ル 11

帶 薄 膿 十十 晚 敗 或 今だいル ルル セ 及 水 施 鱼 4 機 ハス 腐 水 組 + 12 榆 容 糸= 敗 織 ス 7 n 口 學是 良 y 若 = 1 易 才 撒 熊 陥 ル 創 糸 1 1 -氏 _ 出 ス ロヲ y 力 7 リシ = , 創 濕 如 血 12 實 開 諸 日ヲ 驰 木 2 ス 面 + 故 放 、驗 創 水 7 シ 二處 創 被 創 i 經 -膿 面 面 Ł 溶泻 テ 卫 日 腐 レハ = 7 肉 7 3 解, 掩 撒 膿 排 1) 牙 撒 流 新 污血或 頂民能處反 糸 泄 糸 , レが。 7 7 出 創 發 7 7 并 交 ス 自 貼 生 及 換 由 t 水 7 7 腐 化 膿 俟 稀 網網

外科遊識識

若 附 中 且 シ 1) 12 若 者 义 7 7 ") i P 其 繃 割 ") 取 永 = セ 燕 带 第 25 ル 2 面 力 ス 器 時 等 發 = i = ラ 交 間 一受 テ 1 永 7 創 = ス 速 静 11 流 シ 面 妨 i + 創 若 出 置 7 7 力 井 1 テ 被 速 テ ハ 面 而 = i セ ス 商 膿 ル 通 流 y = 7 力 シ 常 膿 A 井 撒 三 汁 敗 泄 -寒 十 4 創 糸 " 又 ス 12 第 膿 冷 怒 温 12 面 7 モ 茂 臭 貼 悪 室 汁 1 或 ス 故 臭 ニハ 創 + " i -7 3 7 十 放 繃 撒 ") 面 = 11 腐 故 糸 带 微 躰 -7 四 時 其 留 敗 温 紹 7 ツ + 带 原 間 滯 7 度 t 7 取 由 有 又 + 3

若 者 外 丰 ス 助ク是 躰 牛鱼 類 ハ客 亡 感,妨牛却,病裡二肉牙,發 創 繃 7 乾 别 シック 維 -固メ病 7 带或八膿 納 面肉牙ョ生之其周 ラ以テ之ラ觀レハ散 角一般长江 諸 局 ツテ益 府二在リシ 處 創ノ療法ヲ見テ發明ス 及七全身療 ヲ造リ創 多器出 ナレ又夕創 汁一附着スル トキビルロート氏二從 面 法 園ョッ ラ掩 7 杀 面二附 件 ハ 要 7 7 貼 蒰 1 セ 生ラ補育スル ル所解 頂死管歲友 渡ヲ替ムト 著 膿,腐敗 キハ有害 シ網帯ラ施 ス スル膿 血

膧 證 サ セ 7 ス リ其實驗 割 歸 テ 本スル1 朝 後 創 順 D ヲ開 天堂こ在 スルー二症 既 = 數 放 4 シニ 多 ツテ四 + " 17 既 果 ノ其 肢 ラ 盡 順天堂醫事 ク 7 劾 縫 切 アル 斷 綴 7 ì 施

雜誌第一篇二揭出セリ

〇內牙病〇各種組織八瘢痕〇分派血

行

肉 7 才,發 論 説 セ 1) 生及 次 t 二肉 其性質ノ平常ナ 牙ノ變常即チ ル 肉 者八既二之 于 病

門無職職職

性 部 黯 中 라 1) 十十直角 3 7 被 隆 肉 海 赤 ") , = 障 排 揭 牙 = ナ 綿 7 11 脂 有 ル 碍 7 泄 性 = 至 肉 生 3 F 防 ス 7 血 學是三 7 菌 家 12 y ,1, 1 牙 ス 老 膿 生 ル 或 ラブ 良 顆 子 膿 或 11 其 原 及 11 X ス 71 ル 浅 及 粘 ギ 種 因 r 1 ラ 海 7 1 如 液 **チ**オ 類 紅 粘 Ł 居 71 11 + 膠 7 綿 -1 7 ル 房 别 多 兒 物 こと 如 7 者 告 血 J + 7 告 7 如 テ 十二 管 多 充 富 皮 17 -數 i 四 實 膏 種 多 i 而 = マ y 1 之 通 頁 面 7 ス ス y ス 如 1-シキ 其 常 1) 此 全 天能被饭 例 而 E 色 但 ") 7 キ , 7 带 膿 創 海 創 髙 i 惠 球 緣 創 綿 ア

外外 腐 月 緣 歷 7 1) 少口 源 芸 ラ リ或 類骨 ノ皮 重ッ 次二 파 7 7 マン氏 通 累 除 深 + 骨緊 强 腐 具 肉 其 ,\ 7 力 翻灣豐三 筋 ノと 蝕藥 發生 絆 牙 ザ 71 12 12 創膏 肉 7 ì 11 ニッ 療 中一遺 ヲレス 中 7 銀消 许 キ , \ 神 ヲ其 " ハ 酸 ス 創 在 自 剪 ルニハ先ッ 留 7 テンヲ擦除 残ス ラ癒 苒 貼シ赤 面ノ縮 刀ニ ス 上 11 3 1 テ 12 y モ " 軍心若 癒 告 小、 隆 切 貼 12 原 7 由 汞 除 亡 4 7 妨 可心 テマタ ラ散 12 ル 心 因 P 或 者 但 ケ或ハ異 v ヲ除ク 7) 門流端龍 心水 ハオ 肉 布 1 + 牙 雖 1)

亍

劾

12

在

3

歳

物

局勝

F

變 挑 詳 ス # 如 斗 疼 故 油 治 力 知 セ 7 12 覺 單 癒 痛 -道 + = 蠟 疼 異 由 劇 性 7 如 y ラ 输 高月 常 出 i 痛 妨 肉 何 ル ス 益 于 糊 + 血 7 7 + 肉 减 ヌエ 劑 者 作 ル ラ i 却 肉 易 子 溫 而 用 + ラチ ~ ラゴ 卷 子 セ E ル 而 = ì 法 由 肉 7 下 + 可 シ y せ = 等 7 2 牙 址 ラ i テ 21 其 疼 神 分 知 7 -ル ス ラ 覺. 惠 物 貼 痛 ,\ 發 經 布 -士 者 通 生 恐 ス 劇 敏 7 ス 常 軟 捷 海 可 以 7 ル シ ク 神 神 頂灰電鐵板 i 和 7 牛 11 綿 テ + 岩 苦 其 經 狀 經 2 并 11 = 脂 性 ヺ 肉 7 11 7 未 觸 肪 歷 存 唯 質 右 子 V 扁 創 重 七 3

ダを選論

門無量調

鐵 刺 若 發 肉 上二造儿之习 戟 生 劑幾那 i 方 顯 牙ョ腐 性,人二 肉 膜性 ス 功 微 者ョリ成ル又凝 牙ノ疼 鏡 ル ナキゖハホ ヺ 肉 等尹與 者 触し或ハ剪 - ,1 于 以 痛ピステ 因スルフラ テ 之月 通 ヘテ全 離 テ D 即并黄 例大ナル 刺セン 才 結セン繊 檢 刀 7 11 身ラ ル ヲ 以テ レハ膿 察 太 1 色ニノ膜 家或 調 創 ス ル ス 12 面 力 ル 維 7 LA 可 素ヲ膿球 球 或八蹇 ,1 除 7 井 片 貧 ノ緊 樣 吸 *>* 八去脱之 可心 纐 血家 茄 金官 草 = 等 間 連 阿 7 易 肉 魏

が織 往 同 炎腹 發見入益 十十 7 肉 易 時 物列 2 如 血 7 ハコ 牙ノコ シト 液 评 維 直 -肉 於 + 義 素三化 形 何 美三 纖 P テ發 信 牙ョ シ膿球ョリ 成 1 用 0 維素二 ス 膜 で性性 リ刺 見スル セリ晩今レルショウ氏ノ説ク ,1 セン者ナラン盗し肉 少卜看做 即チゴロープ或ハ 富 炎 離し易 滲出 纖 ム力故二湯出 即 肺炎胸 維 シャト ノ可 膜 スルプ トー様 十四 膜 + 雖 7 炎 氏 D 沕 牙上 物七亦 龙 1 順人能能 如 + 剥 罹 7 2 गार 7 二生 ル + 義 膜 故 1 ラ 患 -呖 炎 凝 復 固 膜 2

加海電電影

著高門 ラ ヲ造 出 摅 療 變 光青膏 7 物 溶 法 A. クル y 稍 " 解 モ 又 " 同 7 貼 其 纖 炎二雅 源 酸 氏 婆入スル ヲンノ 組織 銀 因 ス ヲ貼 維 ノ試 ニテ ル 7 性 テ ル組織へ特異ノ性 除 片 y 及七義膜性 7 後 反 驗二處 腐 ク 知 11 復 纖 則 皮 灼之或八沃顛丁 12 产 可 胞 7 維 7 刺 刺 7 素 2 7 レハ單 戟 剥 戟 + ラ凝 又夕義膜 一由 除 + ス 之 n ル 純 固 テ 更二其 者 7 月 井 セ 纖 幾 7 + 沕 i 存 11 ") 漸 スル 剥 ラ塗 2 維 質フ 面 1 液 除 N 1 貼 y 其 性 者 例 + 光 肉 膜 質 渗

核 維 1 組 結 **水牛鱼角 则是** 7 ク 鏡 集 筋 釀 織 多 y 組 積 冝 其 动 肉 織 サ 面 瘢 端 様 ス 1 , 面 ス 筋 瘢 瘢 痕 平 死 肉 y 19 纖 最 痕 痕 水 坦 牙 7 -追 向 維 初 11 " + 1 7 其性 結 ノ末 既 力口 -如 2 損 一之 而 1 組 i 丰 , 端八 ス 弛 壞 約 稀 織 鏡 ル患者 緩 i 升 説 7 3 7 漸 論 様 而 ノ生力感 7 ス 渗出 ノ色 構 可 77 y セ 去 圓 7 其 造 或 i 錐 愚 澤 / 故 セ ス 狀 却心 ラル 屍 順尺を記忆 = 如 7 = ヲ成 無 次 गर् 見 = 數 筋 發 其 + 色 各 肉 見 1 i 赤 種 牙

膏 者 筋 + ナリ 神 圓 新 7 其 纖 = 一片ラ裁 瘢 端 終 力口 テ 維 鷾 面 經 9 端 終 2 痕 -动 7 7 ラ成 計斷 皮 中 斷 發 テ 神 ル 微 和 是 三 力 生 膏 復 セ 之 スヿ テ其 經 K 1 ク , ラ 組 如 神 膧 たカラ 相 11 得 織 亡 P 片 張ス ヲ造 如 連 7 經 ~ 創] 7 片、八 गर्म 續 即 +

丰

筋

肉

藏

痕

中

子

其

末端

瘢

痕

ノ結

織

ス

恰

F 筋

肉

1

末

T

7

否詳

ラ

力

+

斵

端

互

相

作

用

ヲ婚

1

1

得

者

害

除

然

ル

後

並

部

皮

面

=

植

接

ス

ル

片

画

部

成

終

-

"

其

連

日

7

經

11-

-

從

也为

3

於、 用 微 續 ザ 7 i 神 7 斗顏 復 細 12 復 且 經 斷 可 煎 功 神 ル 2 1 4 力 綸 其 7 痕 雖 斷 知 經 ラ E 7 张山 + 作 至 7 氏 ル ス セ 寝 坐 全 切 ル 通 ラ 꺳 用 骨 是 + 7 端 過 r + ル 神 些 ` = 神 ラ 復 7 i ス 無 形 互 經 r 經 ムハ 其 數 中 相 成 -又 組 實 連 9 織 神 同 手 相 1 者ソ 連 經 系 知 術 如 7 十六 竟 續 微 形 1 7 لملا 求. 其 成 神 妙 ラ + 如 大 復 順戶電影友 作 ナ 如江 + 酱 り 枝 川 夕指 運 枝 7 耳 1 7 1 作 動 切 田 連 寝 神 作 在

ソ其両端ノ距離三線ョリ四

線二至ル片

ハ

同

組

MIN

腦 織 難 經 四 力 7 肢 則 及 7 ī ヒ谷 生 然 七力 チ 岩 1 y 其 劫 端 且 + 酱 髓 斷 作 物 瘢 7 任 十 下 惠 用 7 1 後 7 痕 等 割 作 全 1-者 -ラ造リテ シス 切し 就 + 其 劇 用 テ テ 7 組 功 7 痛 創 或 複 47 織 經 ヲ訴ア即 1 面 ラー書 驗 或八 " ス 結 ス ル 其 節 在 ス 切 物 テハ カカ 7 = 囬 質,失亡人 能 4 斷 40 ハス 11 其 復 神 U 如 スルー整 腫 田復甚夕 經 時 膧 飛 張 痕 ス 1 12 速 神 觸 井

1 結 離 心見 范 麴 脉 セ 而 (TO) 弘 二 由 テ + 襞 功 距 大 ハ 結 内气 鱼 7 + 血 血 除 ス 液 膜子 熬 液 造 12 ル ス 侖 九 1) 凝 脉 7 件 先 セ MAL ILL 脉壁全ク 名 テ ハ ラ 結 管 .7 為 北 ケ ス z 格 離 殊 P 例 京 但 ì 約 嵤厂 = ラ 17 處 ョ = サ セ 動 ス 死亡 非 D 杨 然心 ラレ 脈 レハ疾 7 4 支 ス 7 其 結 如 次 脉 结 ブ 尺 内 7 粉 管 紮 长 驰 痛 十七 ノ凝 徑 傍 膜 1 7 セ ス 治 開 i 義远 枝 内 4% 脉 膜中 12 セ 寨 頂戶管設反 管 塊 꺳 口 及 片 ス 徑 をラ 1 1 3 2 1 7 7 則 7 開 1 外 速 12 遠 凝 ク 閉 7 膜 圖 呀 動

川川河湖温泉

周蒙

靱 若 容 灰 查 井 固 經 質 八大 着 易 ル 血 i 7 結 -ル 血 如 1 4 化 杀 脉 址 7 又 從 件 發 亡或 9 管 脉 中 **^** テ + 而 ス 管列斷 其 脉 7 漸 び 7 ル 管 1 初メ凝 離 赤色變义黄 周 h ヤ ョッ漸 軟 山 其 F 斷 ヨッー 化 質 テ t 1) 7 脱 浅 並 収 セ 以其 × 自 變 閉 並 ラ 雜 脉 周 色 7 y 7 ス ル ス岩元 邉 硬 壁 人 n + 經 家 或 者 細入 二及 固 + ル ^ 脉 1 能 1 1 井 者 獸 管 在 木 ,, 但 t 7 其 " 著も y セ テ ス i -由 其 質 脉 危 結 紮 松 脱 蓝 壁 テ 險 一日 檢 色 堅 石

脱 塞 十年通命學是三 管 撿 如 顯 7 i 月 落 發 微 次 計 , 求 111 末 第 鏡 八圖 スル 見スベン 夫 スル 7 一由 千縮 黑 凝 端 時 i見 ネ 血八永力其質习固 圓 1 テ 小ス 年 期 + 11 錐 右,凝 7 狀ラ成メ結 上ハ凝 微 故 、經 7 ルー 數 血 E 血硬固ソ全の脉 7 疑 月 從 檢 組 血,残 テ 7 織 瘢 持 ス 經 +~ 中二 ル 痕 テ スルモノ 結 痕 組 井 頁天智處反 紮 織 ヲ見 八左八 終 " ヲ 管 セ 織結 徑 i 組 ス = 見 形 只 꺳 7 7 閉 脉 化 ラ

MIII

藏置

清澈

問

成 新 ,], 右 經 變 著 鮮 白 テ + 試 化 ル 血 1). E こ 纖 球 凝 動 赤 驗 7 脉 維 血 增 ラ見んへと其他 血 + ヲ檢 7 摄 球 7 , 多 發見 若 ス 凝 ハ著シク テ 纖 シ試 ス n'e 2 12 , ヲ見 ス是し 維 素 排 并 D ,, 增 ~ え L ス 數 凝 ,, 清 不 减 11 -多, 結 結 正 疑 明 井 + 梨ノ -~ i セシ 血 1 赤 其 Y 11 纖 質 後 網 血 雖 永 無 球 形 既 当分 維 Æ , > 其 質 1 如 白 = 堅 日 吝 質 物 血 + 3 シ 靱 球 17 短 7 7

變

セ

*+

者

非

ス

日

7

經

12

一從

テ

其

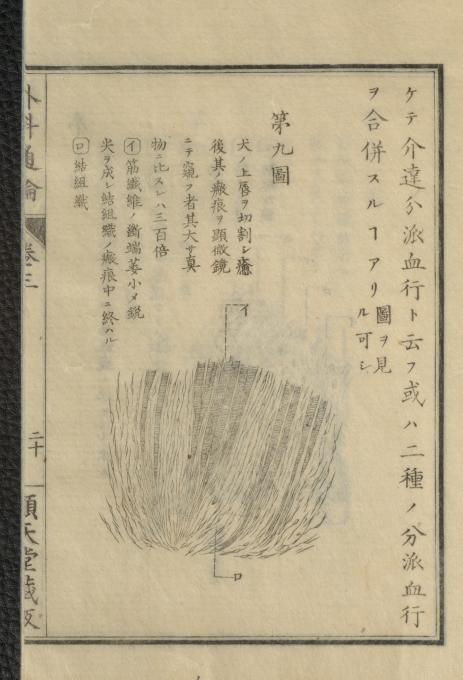
質ラ

L

結紮 1 給 敗 固 1 下 + 組 養 或 十 脉 織 ヤ + 後 二化 7 2 通 力 ル 脉管 保 脱 結 外 + 血 人刑 松 成 全スル 疸 動 ョリ 液 ラ Mound 一階 脉 中 せ 如 ス ス ヲ結 給 恐ク i 1 何 11 下 養 7 血 者 1 何 12 部 茶 行 " 作 ヤ 7 凝 di-用 り ソ・ヤ 亡 ラ 給 テ 河 理 血 1 = 如 其 中存 養 血 由 + 1 テ 亦 變 作 管 化 " 7 テ ク 十九 失 用 然 -仝 異 育 發 在 育 7 t 7 7 且 ス セ 閉 枯 見 頁 12 ノ機 次 F 脉 ラ 塞 房ノ 天智裁及 死 ル -F 管 ハス 常 論 及 セ 中 7 説 t ラ 作 保 + ナ 其 廢 若 用 12 7 テ

川河端市

管 千 若 + ク 可 1) 7 -凝 於テ 脉 i 直 流 血 傍枝 管 通 血 行 " チ 全 脉管 -ョ分分 1 漸 甲 ヤ 結繁 こ 7 7 血 3 々質ラ髪こ 結紮 渡 管 " 名 派 X 部 斷 新 ヲ生スル者 血 テ ケ 行 復 邊 セ う直達今 ヤ 9 17 ラ 9 % ラ 1 9 テ結 脉 云フ ル K 12 然 管 新 給 液 結製と 養 枝 片 組 7 L アリ或 織人化 血行 生 ハ ヲ生 ラ答 H i 日 右 ト云とてラ名 給 21 i 月 -ラ L 者 27 論 養 結 レシ 17 i 教 血 + 3 經 ス 7 行 y 脉 復 12 ル セ IJ シ 管 其 1 ス 和 如 力 處 脉 洲 液 後 ル 如 3





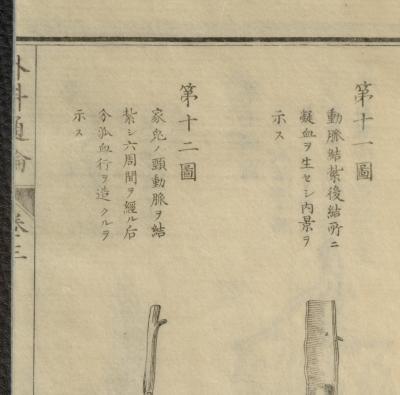
第十圖

①織維ト細房ヨリ結構セラル即チ其大サ真物ニルスレハ三百倍

三動脈外膜 如動脈的膜



加尹骂龍



主

頁与言文文



第十三圖 題馬,頸動脈ヲ結

ヲ剖視ス ル後分派血行ラ造ん 禁シ三十五ヶ月ヲ經

第十四圖



剖視ス



發克書林

馬喰町二十月五番地 助

右同所

述人佐藤進

湯島五丁目十三番地東京第四大區四小區

出版人

佐藤尚中

